

令和5年8月4日

<採択事業に関するお問い合わせ>

公益財団法人やまなし産業支援機構 常務理事 内藤

電話 055-243-1888

<医療機器関連産業全般に関するお問い合わせ>

山梨県産業労働部 成長産業推進課 課長 小俣

電話 055-223-1565(内線 4600)

報道関係者各位

医工連携イノベーション推進事業（地域連携拠点自立化推進事業）の採択について

本県では、機械電子産業における高い技術力や立地特性を活かし、医療機器関連産業を県内に集積する「メディカル・デバイス・コリドー構想」を実現するため、やまなし産業支援機構にメディカル・デバイス・コリドー推進センターを設置するなど、県内企業の医療機器関連産業への新規参入を支援してきました。

この度、やまなし産業支援機構が申請した「医療機器産業クラスターとの近接性を活かした、医療機器開発回廊の形成に係る研究」が、令和5年8月1日付で国立研究開発法人日本医療研究開発機構（AMED）の「医工連携イノベーション推進事業（地域連携拠点自立化推進事業）」に採択されましたので、お知らせします。

本事業の実施を通じ、山梨大学、静岡県（ファルマバレーセンター）に加え、次世代医療機器連携拠点である東京女子医科大学や順天堂大学など複数の医療機関や、首都圏産業活性化協会、名古屋産業科学研究所などの他地域の支援機関等との広域的な連携により、専門的な人材の育成や、広域連携の構築、参画企業の提案力向上を通じ、メディカル・デバイス・コリドー構想の実現に向けた取組の更なる加速化が期待されます。

○ 研究開発課題名

「医療機器産業クラスターとの近接性を活かした、医療機器開発回廊の形成に係る研究」

○ 研究開発内容

次の取組を通じ広域での連携体制の構築と医療機器開発機能の強化により、自立した医療機器開発回廊の形成を目指す。

- ①地域における実践的な医療機器開発専門人材の育成
- ②広域での事業者間のネットワーク形成
- ③参画企業の企画・提案力向上

○ 事業経費（AMEDとの委託研究開発契約）

49,398千円（令和5年度 24,699千円、令和6年度 24,699千円）

- ※ 企業の試作品作成への助成、専門家等件費、イベント開催経費等へ活用
- ※ 令和6年度は令和5年度実績に応じて契約継続を判断

○ 事業期間

契約日～令和7年3月31日

※医工連携イノベーション推進事業（地域連携拠点自立化推進事業）

地域の特色を活かしたニーズ・シーズの橋渡し活動等を通して医療機器開発プロジェクトを組み立て、中長期的に地域の取り組みが自動的に活動可能な支援体制を整備することを目的とした委託事業